



こひつじ 1組 クラスだより 9月



2023年 9月 28日 ひかりの幼稚園



クラスで取り組んでいること

運動会に向けて...

- ・パラバルーンではクラス皆が力を合わせて表現できるように日々励んでいます。
- ・リレーでは、子どもたち主体で意見を出し合いグループと順番を決めています。

今月の聖句

「あるものは百倍にもなった。」

(マルコによる福音書 4章8節)

今月の歌

♪ フレフレ ぼくらのくみ

かけっこ選手はチーターになってなって
玉入れ選手はキリンになってなって
綱引き選手はゾウさんになってなって
フレフレこりす フレフレこうさぎ
フレフレこぼと フレフレこひつじ
チャチャチャ チャチャチャ
チャチャチャチャ チャチャチャ
みんなでがんばろう オー！

今月の賛美歌

♪ よろこび ひろげよう

- 1.よろこびひろげよう 小さなぼくたちだけど
イエスさまは どんなときでも
愛して まもってくださる
- 2.あかるさいつまでも 小さなぼくたちだけど
イエスさまは どんなときでも
愛して まもってくださる

夏休みが終わり、2学期が始まって1か月が経とうとしています。「幼稚園でお友達と遊んだ！」「家族で海に行ったよ！」「スイカを食べて美味しかった！」「手持ち花火をしたよ！」と夏休みの思い出を沢山聞かせてくれる子どもたちの中には「初めて1人でおじいちゃんおばあちゃんに家に泊まったよ！」と聞かせてくれた子もあり「私もしたことある！」と共感の声もあれば、「えー、1人で！？」と目を丸くする子の姿もありました（笑）
経緯を保護者の方に何うと、お泊り保育がデイキャンプになったことがきっかけだったとのことでした。子どもたちの姿や時代に合わせ、園の形態が変化していく部分もあり、戸惑いもある中で、そんな風に過ごしてくださっていたことを知り、温かい気持ちになりました。同時に、いつか子どもたちの中で芽が出ることを願い、園でもまた、できる限りの種（経験）を蒔き続けたいと感じる出来事でした。
2学期は運動会やクリスマス会と様々な取り組みの予定がある時期です。こうさぎ・こぼとの頃から異年齢の関わりの中で“こひつじになったら...”と憧れの気持ち、またプレッシャーを抱える子もいたことと思います。人にはそれぞれ得意・不得意があることなどの多様性を認め合い、そこを支え合う時間が過ごせればと思っています。行事の前後は大人も子どもも心に波がやってくることもあると思います。一緒に考え、話し合い進めていきたいと思っていますので、また気になる事があれば、ぜひ聞かせて頂けると幸いです。2学期もよろしくお願ひいたします。

〈敬老の日〉

大好きなおじいちゃん、おばあちゃんなどの家族に向けて、子どもたちに絵やメッセージを書いてもらいました。自分の好きな物を描く子もいれば、文字にして書きたいという子もあり、様々な方法で気持ちを表現していました。9月のBD会の日、保護者の方にも一緒に付き添って頂き、皆で津田駅裏のポストに投函。「よろしくお願ひします！」の思い、言葉を添えて、大切に手紙を入れる子どもたちでした♡後日、「おじいちゃんが手紙届いたって言ってた！」と喜ぶ姿...！一緒に暮らしていない家族や大切な人に、手紙で思いを届け、繋がれる喜びを感じることができた時間でした。



〈万国旗制作の様子〉

国旗カルタが好きな子どもたち。国旗に興味深々...！運動会用の万国旗も書くことを楽しむ姿があり、お部屋の飾りも運動会モードです...！



〈運動会に向けて... ～パラバルーン編～〉

2学期が始まり、すぐにパラバルーンの取り組みがスタート。明日の予定にパラバルーンがある事が分かれると大喜び！「早くしたいー！」と期待に溢れている子が多かった気がします♡パラバルーンの技をうまく成功させるには、皆の心と力を合わせることが何よりも大切だということを伝えた日から、皆で声を合わせ頑張る子どもたちの様子があります。風船が大きく膨らまなかったり、ボールが高く飛ばなかったり、右・左のタイミングが分からなかったり...回数を重ねるごとに、様々な課題が見つかります。一つひとつに皆で向き合い、出来たことを褒め、達成感や自信を少しずつ積み重ねる子どもたちでした。

〈運動会に向けて... ～リレー編～〉

まず最初は、1周走る事、バトンをつなぐこと、トラックの外側を走る事などのルールを知ることから始まりました。簡単そうに見えて、細かいルールのあるリレーですが、説明をしっかりと聞き、大きな混乱もなく終え、あまりのスムーズさに驚いたことを覚えています。1回目の経験を踏まえ、次の他クラスと走る日に向けて、チーム分け走順決めをすることに。

チーム決め話し合いでは、子どもからの案で、男女混合チームになるように分かれることに。話し合いの前に、本番はAチームBチームで戦うわけではなく、クラス対抗で走るため、勝ちたいなら”どちらのチームも勝てるように考える必要があること”“自分1人でなく、チームで考えること”を伝えました。その後、各チームで名前付きの磁石とホワイトボードを囲み相談、作戦会議。「速い人が1番とアンカーにしよう」「ドキドキするの嫌やから早く走り終わりたい」話し合いを率先して引っ張ってくれる子がいたり、友達の意見を聞いてくれる子がいたり、言いたいけど、言えない様子でうずうずしている子がいたり...色々な葛藤が見られました。話し合いに参加する気持ちになれない子の側にも駆け寄り「何番がいい？」「どうする？」と思いを聞き出そうとする姿には、仲間意識の芽生えを感じました。

そして、倉G一回目。本番さながらの雰囲気意欲が増し楽しみに思う子、また足がすくみ応援係に回る子や、いざ自分の順番が回ってくると走りたくても動けない子など本当に様々な姿がありました。この年齢の子は自分のことだけでなく、周囲のことが少しずつ見えるようになり、自分を他児と比較でき始める頃。対戦を楽しんでいる子もいれば、反対にプレッシャーに抱える子がいることはとても自然で当たり前だと思います。

そこで、リレーの振り返りの時間。良かったこと・楽しかったこと、困ったことの共有、解決案を考える。そして応援係だった子の、なぜリレーがしたくなかったのか、走りたくないのか...の不安な気持ちにクラス皆で向き合う時間を持つことにしました。走ることが得意な子は、楽しい、勝ちたいと思いがあることにも共感しながら、しかし、こひつじ1組の皆でできる運動会は今年しかできないこと。運動会でみんなが楽しい時間を過ごすためには、不安な子の気持ちを置いてけぼりにはしたくないという担任の思いも加え話し合い。ただ、リレーをするのは担任ではなく、子どもたち。担任の思いだけが先行することは避けたい、子どもの意見を尊重したい思いもありました。しかし、思いが伝わったのか、勝つことを強く望んでいた子の口からも、“皆で走ったほうが楽しいと思う”“勝ちたい気持ちと皆で走りたい気持ちと半分半分くらい...”という正直な思いを聞かせてくれました。そこで、走りたくない理由を聞いてみると、「1周は疲れるから」「負けるのが嫌だからやりたくない」思いだったと伝えてくれました。鬼ごっこは好きで疲れないなら①リレー鬼ごっこにするのどうか②1周が無理なら半周にするのはどうか、負けが嫌なら③勝ち負けなしでやるのはどうか...と、皆が自分のことのように、柔軟に考え意見が出ました。すると、やりたくない子も、②と③の案で納得！それを元に、倉G2回目に向けて、もう一度チーム決め、走順決めをしました。

そして倉G2回目。ぎりぎりまで“今日は皆で楽しく走ろう！”“勝ち負けなしね！”“何回転んでも、抜いても抜かされても、頑張ることが大切だよ！”と伝え続け...全員が列に並び、頑張ろうとする姿だけでも、心にグッとくるものがありました。そしてスタートのホイッスル。蒸し暑い日でしたが、初めて全員が自分の番の責任をもち、走る経験ができました。結果は2位。他クラスとの対抗ということもあり、クラスそれぞれの目標があり、3クラスとも勝ち負けなしにすることは難しく、どうしても2位というところは悔しさを感じていたようです。しかし、クラスに戻り、昼食時にテーブルごとに感想を聞いていると、「いつもの100倍楽しかった！」と達成感にあふれる笑顔を見せてくれる子もすごく多かったです。そして、参加はしていてもやりたくない思いがあった子からも「楽しかった」の声を聞け、皆で運動会の日を迎えるに向けて、意欲を持ち過ごせるきっかけの日になり、すごく大切な時間だったように思います。

そして再度話し合いの日。“1回は1位になってみたい...”という声もあった為、“勝”というワードは使わず、“速くはしるためには”という目標で話してみることに。すると、バトンを渡すときは声をかけよう、足と手はよく振ろう、走ることが得意な人がA Bチームに分かれよう、その為に誰が速いかを園庭を走って調べよう...と、気づきを元に考え工夫する様子もありました。

運動会の日まで、残り数日...！話し合ったことももちろん大切ですが、リレーの取り組みを通して、神様から頂いた身体をたくさん使い、今できる精一杯の力を出し楽しんでくれればと思っています。運動会当日を元気な子どもたち、保護者の方々と迎えられることを願っています！（担任も体調管理に努めます...笑）



誰がどこ走るー？

疲れたー！床気持ちいい♪

今年のバラは“スピッツのチェリー”です！

